

第4期(2018.01～2018.12)事業報告

1 会議

1.1 総会

第3期総会を2018年3月20日に開催した。主要な議題は第3期事業報告、決算報告、第4期事業計画、予算計画、役員改選についてである。

1.2 理事会、総務委員会および委員総会

理事会を3回、総務委員会を7回開催した。総会への提出議案の作成、各事業の充実、会員増強の取り組み、および任期満了に伴う新役員の選出について審議した。また、委員総会を2018年3月20日に開催し、運営委員の任期満了に伴う新体制への引き継ぎ等を行った。

1.3 賞選考委員会

光学論文賞選考委員会および光学奨励賞選考委員会を開催し、各賞の受賞者を選定した。選考結果は2018年9月に開催した総務委員会で報告された。コニカミノルタ光みらい奨励金選考委員会を開催し、受賞研究を選定した。結果は2018年9月に開催した総務委員会で報告された。OPJ 優秀講演選考委員会を開催し、受賞者を選定した。

2 事業、行事

2.1 編集委員会および会誌出版

会誌「光学」を(47巻1～12号)発行した。光学編集委員会を6回開催し、企画編集、進捗管理等を実施した。光科学および光技術調査委員会を関東で3回、関西で3回実施し、論文抄録、企画記事の執筆を実施した。学術雑誌「Optical Review」を(25巻1～6号)発行した。Optical Review 編集・出版合同委員会を1回開催した。

2.2 講演会

2018年1月18日、19日に第44回冬期講習会を、2018年6月21日、22日に第43回光学シンポジウムを開催した。

2.3 年次学術講演会

2018年10月30日～11月2日に年次学術講演会 Optics & Photonics Japan 2018 を筑波大学東京キャンパス文京校舎で開催した。

2.4 支部活動

国内8支部にて、地域の状況に応じた光学および関連学術分野の研究の促進ならびに成果の普及のため、単独および他学会との共催によるセミナー、講演会、支部表彰等の活動を実施した。

2.5 研究グループによる活動

各研究グループの掲げるテーマに即して、光学および関連学術分野の研究の促進ならびに成果の普及のため、単独および他学会との共催によるセミナー、講演会、表彰等の活動を実施した。

2.6 表彰

光学論文賞、光学奨励賞、コニカミノルタ光みらい奨励金の受賞式を年次学術講演会において実施した。

2.7 関連学協会との連携および協力

国内他学会、研究団体及び関連業界との共催、協賛、講演による研究会、講演会等の開催を通じて関係団体との連携、協力を推進した。開催件数は主催 16 件(うち 5 件は国際会議)、共催 5 件、協賛 58 件(うち 7 件は国際会議)であった。

2.8 国際交流

光学および関連学術分野の研究の国際的な促進ならびに成果の普及のため、欧米およびアジア・太平洋地区の関連学協会との研究交流を推進した。

2.9 会員動向

| | 一般会員 | 学生会員 | シニア会員 | 賛助会員 | 特別会員 |
|-------------|------|------|-------|---------|---------|
| 2015年12月31日 | 726名 | 109名 | | 34社 49口 | 95口 |
| 2016年12月31日 | 616名 | 117名 | 50名 | 35社 50口 | 83口 |
| 2017年12月31日 | 557名 | 89名 | 54名 | 34社 49口 | 60社 79口 |
| 2018年12月31日 | 591名 | 106名 | 50名 | 35社 50口 | 53社 72口 |

2019 年度事業計画

1 会議計画

1.1 総会

第4期総会を2019年3月23日に開催する。主要な議案は2018年度事業報告と収支決算報告、2019年度事業計画と事業予算、任期満了に伴う新体制についてである。

1.2 理事会、総務委員会および委員総会

理事会を3回、総務委員会を6回開催し、総会への提出議案の作成、各事業の充実、会員増強の取り組み、および任期満了に伴う新役員の選出について審議する。また、委員総会を2019年3月23日に開催し、運営委員の任期満了に伴う新体制への引き継ぎ等を行う。

1.3 賞選考委員会

光学論文賞選考委員会および光学奨励賞選考委員会を開催し、各賞の受賞者を選定する。結果は2019年7月に開催する総務委員会で報告する。ユニカミノルタ光みらい奨励金選考委員会を開催し、受賞研究を選定する。結果は2019年9月に開催する総務委員会で報告する。OPJ 優秀講演選考委員会を開催し、受賞者を選定する。結果は理事会に報告する。

2 事業、行事計画

2.1 編集委員会および会誌出版

会誌「光学」を年12冊（48巻1～12号）発行する。光学編集委員会を6回開催し、企画編集、進捗管理等を実施する。光科学および光技術調査委員会を関東と関西で各3回実施し、論文抄録、企画記事の執筆を実施する。学術雑誌「Optical Review」を年6冊（26巻1～6号）発行する。Optical Review 編集委員会および出版委員会を各1回開催する。

2.2 講演会

2019年1月18日、19日に冬期講習会を、2018年6月27日、28日に光学シンポジウムを開催する。

2.3 年次学術講演会

2019年10月に年次学術講演会 Optics & Photonics Japan 2019 を大阪大学で開催する。

2.4 セミナー

光学および関連学術分野の研究の促進ならびに成果の普及を目指して各種セミナーを開催する。

2.5 展示会・一般向けイベント

光学および関連学術分野の研究の促進ならびに成果の普及を目指して各種展示会への出展、一般向けイベントの開催を実施する。

2.6 支部活動の展開

国内 8 支部にて、地域の状況に応じた光学および関連学術分野の研究の促進ならびに成果の普及のため、単独および他学会との共催によるセミナー、講演会、支部表彰等の活動を実施する。

2.7 研究グループによる活動

各研究グループの掲げるテーマに即して、光学および関連学術分野の研究の促進ならびに成果の普及のため、単独および他学会との共催によるセミナー、講演会、支部表彰等の活動を実施する。

2.8 表彰

光学論文賞、光学奨励賞、コニカミノルタ光みらい奨励金の受賞式を年次学術講演会において実施する。

2.9 関連学協会との連携および協力

国内他学会、研究団体及び関連業界との共催、協賛、講演による研究会、講演会等の開催を通じて関係団体との連携、協力を推進する。

2.10 国際交流

光学および関連学術分野の研究の国際的な促進ならびに成果の普及のため、欧米およびアジア・太平洋地区の関連学協会との研究交流を推進する。